佛語

發句八百題

小夜菴禮岳撰

冬

發句八百餘番

小蓑菴碓嶺遺稿
碓嶺居風齊校合

十月

十月中旬ハ名き　松什
十月へつき　竜昇
十月中日の　柳加
十月中くれ　碓嶺
竹山ある時ハ　柴人

神無月

とく　新　流芳
何事ゝも　杉　音人
天ゝも　神　碓嶺

小六月

小春

初冬

江三　圭丘　李曠　志竹　緣雨　捐月　可女　山曉　雉嶺　茶靜　祝鶴　鷺秋

冬ゝれ

玄猪

神送

護岳　晩翠　青山　文里　瓜齊　一具　白雅　夜白　梅糸　半月　一具　拾家

神舞　李葉
　　椿葉
　　雉嶺
神旅　杜鵑
　　文里
　　祝鶴
神迎　嶺碁女
　　文之
　　應吏
　　一本
　　凡齊
　　共山

達磨忌　志竹
　　嶺碁
御命講　樂齊
　　荻哉
　　一本
十夜　由誓
　　一具
　　浚叟
　　秀岱
　　嶺碁
　　梅成
　　双鳥

時雨忌

芭蕉忌

富鷹　曲江　凡齊　碓嶺　逸淵　飯僧　梅禎　凡齊　碓嶺　一臭　河梁　春蝶

御取越

旬光　乙居　由誓　一臭　錦秋　茂寛　碓嶺　漣山　文之　李葉　雀叟　千春

夷講

初時雨

時雨

確嶺　思雄　錦秋　椿好　護樂　素洲　備後朗汀　護岳　梅禎　文翼　野月　秀岱

むら時雨

文中　凡齊　確嶺　梅花　晩翠　嶺齊　凡齊　律調　桃垣　月坡　多代女　柳向

夕時雨

小夜時雨

冬雨　古翠

初霜　梅室

霜　孤星

墨遊

梅雪

太乙

卓池

種好

凡齊

梅花

千春

西疇

朝霜　太乙

霜夜　凡齊

雄嶺

大江

月巷

素洲

秀嶽

李業

遥流

雪窓

墨遊

凡齊

霜柱

いつも川に古跡の古や霜柱けら　九起

山畑ハ小雪まじりや霜柱けら　晩翠

口ぶり角や何とふ律く霜柱けら　西馬

霜消

宵ハ罪ある明けく霜消けり　乙居

静なる夜も深ふ霜消まさゆる　凡齋

霜華

消えても寂しき霜のしも　應知

汲尽くつく波の光や霜のしも　茶静

年月の尽る繕うや霜のしも　凡齋

霜枯

しもかれの屋敷くくら門ひ　有節

しもかれのまのつ須磨　浅茅ひ　多代女

縁先の紅や蔭葉も秋く霜枯ゞ　晩翠

初氷

負ふ声や筆三筆に紫のうき川氷　遅流

氷

研ぎ水や縁の冴しきまして氷　茶静

雪の日を知らず山伏やきつ氷　凡齋

其顔も水に光や巌あまき　卓印

難削手の粘の縁よせて氷りけり　佛凡

筆の紫よ縁りく水の氷ひ　南強

日あたらぬ岩出しるる氷ひ　民賀

氷柱

氷りつきのの入ものもれ乞く　可丗女

屋の戸より縁しうある氷柱ひ　鹿白

戸庇ぞ折れ余りのうへる氷柱ひ　律調

乾ききまつむおまりつらひ　梅花

縁錦の町や垂ゆしつらゝひ　淡良

鐘氷

本能の音ひ爲めかや鐘氷る　李菓

凡氷　祝鶴
冴　凡齊
鐘冴　三恵女
鶏周
凡齊
梅通
野月
廬雪
素洲
三恵女
梅糸女
凡齊

月冴　青峨
凍　白露
好雅
浴史
蓬室
葵凍　茶静
好雅
嶺斉
川齊
茂椎
駝岳
凡外
仞雪

雪

秀信
千春
立宁
文志
錦秋
思雄
種好
甫水
頂雨
文中
楠月
南強

雪見

志水
雪賀
梅花
秀信
白
凡
雄
宜
一
飯
卓
江

雪催　文雪
雪礫　野雪
雪丸　梅窓
雪轉　鷺秋
雪吹　河梁
　　梅糸女
　　三恵女
　　嶺齊
　　一臭
　　太拳
　　江三
　　思雄

梅糸女
護岳
梅禎
黄山
凡斉
雄嶺
文翼
孤星
里蕉
梅禎
律調
太訓丸

小雪

雪丸雪

雪車　白光
嶺碁　於彦
太拳
九起
空外
三恵女
秀岱
玄梁
遥流
一貝
風齊

椿

霎

正歌

赤枯

雄嶺
尚白
野月
江翠
南強
雄嶺
甫水
硯水
梅雪
野月
風齊
雄嶺

冬構

紀州の別て淋しき冬かまへ　多代女

うち解て出るも後なり冬かまへ　緑雨

楼上后ハ手つからしたり冬構　凡齋

冬籠

つまりてハ山ごと出ぬ冬ごもり　律調

井も家の内に就て冬ごもり　大江

いつ頃から隣も兄なり冬ごもり　野月

秋松の梢淋しき冬ごもり　音好

すり鉢の音も冬めく八寒し冬籠　春光

炉開

月星の光をまへ炉ひらき一ツなり　甫水

炉ひらきや折ハ淋しき人もあらし　多代女

声の音よい時を炉を開きけり　一具

炉ひらきや猶衣着ても寒し炉開　富鶯

茶口切

炉ひらきや内儀ふえたる北山酒なり　竜昇

炉ひらきや宮より来て雪の山　碓嶺

口切りの前へ出る上ハ大工なれ　一具

口切や人の思ひの用ゐの内　尚白

巨燵

常々を世こゝろの底にて炉ひらき　湧滝

雨の夜や淋しき巨燵かな　野月

うつ向て面の赤き巨燵かな　文翼

炉の内の音も淋しく巨燵かな　欽哉

妻なくて八十の身にかな巨燵かな　一朗

置巨燵

手すさみに猫もともなふ置巨燵　梅花

便なき人のこゝろや置巨燵　雀叟

遊ぶ間もなし何か置巨燵　一本

火桶　雪窓
桐火桶　錦秋
埋火　欽哉
火鉢　隆陽
　　岱年
　　一昊
　　凡齋
　　太郎彦
　　杜鵑
　　護岳
　　柴人
　　乙良

囲炉裏　三都雄
湯婆　茶山　越后
樽　寸長
　　有節
　　一昊
　　凡齋
　　一昊
　　西馬
　　文之
　　萩哉
　　野月
　　樂齊

炭

枝炭

粉炭

桃垣　春国　三郷雄　潮浦　茂椎　野月　秀岱　確嶺　南海　三女　多代女　晩翠

炭竈

炭

厚衾

紙衾

凡斎　一見　斎室　山外　嶺茅女　玄梁　雀叟　紫人　青塢　三恵女　松什　多代女

紙衣　晩翠

太拳

一朗

野巣

卓池

碓嶺

里暁

頂雨

荻哉

祇白

鶏周

一吳

布團

頭巾

蓬陽

晩翠

梅糸女

卓池

瓜齊

碓嶺

由誓

嶺斧

瓜斧

月底

春國

太華

足袋

寒

秀信
雨撲
嶺桑女
文翼
野月
梅糸女
写哉
小奥
凡斧
雄嶺
祝鶴
凡斧

志竹
三惠女
錦石
桃垣
凡斧
器椎
可田女
漣山
匹斧
秀彦
林曹
桃垣

冬田　瓜斉
護樂
萩哉

冬夜　梅雪
碓嶺
梅室
好文
由誓

冬空　三恵女
瓜斉
河梁

冬山　小松

冬海　花亭
十扇
金石
露山
仙岌
懸椎
華月

冬川　漣山
浄水
銀杏
花亭
桃垣

山眠　道乗
冬野　護乗
枯野　古来
朽野　梅室
　　碓蕎
　　浄水
　　鬼柳
　　仙哲
　　三恵女
　　大梅
　　道乗
　　小松

落葉　知秋
　　誠月
　　羨晴
　　逸昇
　　苞美
　　梢雨
　　有柳
　　松塘
　　浄水
　　鬼柳
　　南川
　　牧雄

木葉

散紅葉

枯柏

冬枯

冬木立

水雄　香芙　世外　枯柏　千船　梅室　好文　道乐　三恵女　砂月　柳叟　金石

帰花

冬櫻

樂齊　白雅　さう女　石菜　雄嶺　昇左　柏月　李菜　春國　遂陽　凡齊　嶺齊

枯柳

凡齊

茶花

山茶花

枇杷花

八ッ手花

氏賀

小美

くめ

凡齊

雄嶺

八鶴

稚好

新曉

文仙

一昊

雄嶺

嶺碁女

冬紅丹　雪窓

寒菊　一貝

水仙　匠斧

女梁

古翠

文翼

萬嶺

大乃

祝鶴

硯水

氏賀

嶺茶女

石蕗花　凡斉

雉嶺

浴叟

幸女

枯尾花　悠平

凡斉

雉嶺

鵬居

緑雨

文中

潮浦

三恵女

枯薄　雄嶺　八鶴　廬雪

枯芦　而后　北住　器椎　小奥　梅雪　有節　雄嶺　帛暁　凡奔

枯蓮

枯菊　雄嶺　其山　梅糸女　梅窓　雄嶺　映門　有節　凡奔　東水　可夫　千春　乙良

枯葎

枯草

冬草　月庭
麦蒔　匠奈
大根引　江月
葛古
文翼
由誓
確嶺
卓郎
塞馬
乙良
宇逸
呉明

蕪　蒼虬
風呂吹　犬外
干菜　雄左
上手
メ子
本馬
別蘭
氷住
那平
何公
梨山
由誓
葱

大根引も俳の人ゆゑ白れうの句
くろくろと抜むまるや大根哉
月もろり陸して来るやち根引
又丸丸と八方のつりぬ引ふり郎
南知りせんろ来ゐ汁
風呂吹や酒ふ者の肴ゑ役
風呂吹やせんくゑを出を老世人
本樽坊ゑ丸ゑれ中一を引ぶ
筍干菜ゑ丸れ四つの布一兼
つ干ゑ月のゑてもゑ筍干兼
筍干菜江戸を思ゑる陶ゑ
味ゑ似を香ゑ似を葱の白ぶ

網代守

さゝうや人々の萬えけり　乙良
ゐとりの名ぞ根もあらは波を　和春
夫婦の火種あらく網代守　雀叟
月出より寒さの塘とりつもゝり　可厚
橋柱にも桁にもある網代守　巖
崇濱や礫あたりふるゝ日てらり狗　塞馬

罧

宗清かゝる月のなかをうつり　飯岱
ふしづけや浮みし魚の日を蓑に　玩甫
ふしづけや川瀬の寒き夜の雪　魚魯
ふり雪の蕩足きさる日和哉　也䍐

牡蠣

牡蠣貝に見し事さへも寒り哉　風朗
かき買うて今年の師走にぎにぎ　為山

生海鼠

生海鼠さへ欲しがる人の手を逃るゝ　梅室
はらしき市中ものあまた哉　二の影
日本記の名の部に生海鼠　桂素

水鳥

水鳥や浦寒なく名乗したか　茂推
本末もなき水鳥の羽風かな　臥雲
水鳥やゝ月に雲かゝりたる　池柳
水鳥の啼や晴きるよるの声　友一

浮寐鳥

別れても池をはなれぬ浮寝鳥　梅室
ゆられ女ていまたゆめなし浮寝鳥　象代所
見えずともともに浮寝鳥　雪居
何所の苦の有りき夢や浮寝鳥　この影
清水にも流の上ありて浮寝鳥　玩酔

川鵜

川の瀬のかゞり火やあく千鳥
川風のさゝ〳〵ふるゝ小雨
入川ふる雪や夜ゝ風さむき

木緑
雲双
一二

鴛鴦

その羽音ちのびゝ風ともちり尾
をしの水のあらしやかゝり川燈
をしくらゝ雪とかゝるやをしの中

鳳朗
阜地

物ゝいやたゝ鳴あるる渡りをの峰
陽ゝあれ雪を敷屋やをしの雲

溪齊

鴨

をしの雪のたゝれぬ中や風の吹
雪ゝちゝ雪や鴨の夢
鴨峰や枯ゝ風のうし
ゝふる雪のふる夜の

谷川
白池
映雅
應知
青坡
東雲

千鳥

ゝゆゝ雪ゝ雪ゝ小ゝ
ゝゝゝゝ又ゝ小ゝ
風ゝ雪ゝ雪ゝ
夜の雪ゝ
ゝゝゝゝ
一夜雪ゝ
雪ゝ雪ゝ
雪ゝ雪ゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ

梅通
凡奔
映門
茂椎
秀岱
素洲
掬月
喜節
凡奔
雄嶺
梅禎
文翼

小夜鳥

四方の鳴ゝ初ゝ
耳ゝ鳴ゝ鳥ゝ

壁土鳥　凡斎
川千鳥　多代女
本兒　梅室
　　嶺齊
　　野月
　　護樂
　　茶静
　　逸湖
　　卓洲
　　守人
　　露泉
　　仲兄

鵠・鶴　鳳兮
　　幸女
　　文之
　　九万岐
　　凡斎
　　確嶺
　　古翠
冬蠅　喜節
　　雀叟
　　鷺眼
　　多代女
　　晩翠
十一月

霜月　十一月　梅の二月　仲冬　桜月　霜月　師走

冬至　梅の咲く一日きさらぎ　みそか　うれし　みそか　梅

冬至梅　梅の梢を引きあてし　梅

凡奇　由誓　石昇　大江　凡奇　雄嶺　湧滝　白雅　由誓　野月　應知　喜節

暦賣　髮置　袴着

清水きよくはまちうの梅　李巣
しかのうらに新年のうめ　田華
ゆかしくあるまいよりの暦うり　丹代女
こゝろをはかしくあるまいよりの暦うり
こゝろをはかしくあるまいよりの暦うり
髮置　髮置の髮はいまだ去をゆむまじ　一昊
髮置の髮はいくとせ代松のこゝろぶり　雄嶺
うゝ髮置　梅の花ともそなへぶり　遥淵
うゝ髮置　新の二ツの男子の髮　乙居
そなへまゐらせ　一昊
袴着　袴着の冊のゝしろ帯　梅糸女
袴着の初こゝろよ　威の肩　丹代女
そなへまゐらせ　威の肩　梅室
そなへまゐらせ　威の肩　青塢

神樂　梅系女　露泉　高嶺　律調　亀友　万像　嶺碁女　尹代女　秀岱　遊淵　凡斧　嶺碁女

里神樂

御火焼

吹草祭　空外　頌志　晩翠　白露　遅流　爲山　飯岱　旬光　好雅　三恵女　凡斧　机下

子燈心

酉市

御霜月

御講鉾却

大師講

出家の弟子は出家月
小さいほうれなく人の戸口の戸口月
ろうろうと出れば寄なく出家月
まんまんと満ちて満ちて月
生命を惜しみ生命を惜しみ
多くの重きものも捨てて
よい門を捨てて
行ハ行のものの
月ふく絶えふく
不浄なる風もあるべし
なる金の沙の世界
釈尊 大師講

太橋
空外
黙池
有節
爪奇
由誓
野月
頂雨
高嶺
野景
八鶴
晩翠

頻見世

納涼

仕事うて〻涼〻
新〻をの雪ハあ〻
新〻を〻ゆ〻
新〻を〻人の
新〻を〻物の
新〻を〻
多〻〻〻
月の名も
いひそる
多〻〻
〻〻〻
高〻〻
納涼

爪奇
一昊
由誓
青鳩
雀叟
逸淵
林曹
卓郎
由誓
抛室
露九
秀岱

河豚　梅室
見外
鰒汁　荻哉
春国
潮沛
太乙
鰤　凡斉
八鶴
鯨　凡斉
二恵女
秀岱
嶺斉

杜父魚　凡斉
梅室
墨遊
乾鮭　由誓
茂翠
一朗
藥喰　應知
芹舎
嶺恭女
雪窓
太牟
樂齊

夜鳥引

鷹鳥

力草

暖鳥

淡雪　黄山　寸長　硯水　思雄　一臭　空外　戯蝶　雀叟　椿葉　大江　嶺碁女

鳥叫

寒鶯

鶯子鳴

十二月

乙居　茶静　梅禎　烏峯　大乃　嶺碁女　太郎彦　由誓　好雅　一臭　椿葉　凡斎

七子餅

師走

臘八

御佛名

竜昇
空外
淡叟
露岳
杜鵑
萬嶺
雄嶺
尚白
鵬居
草阿
一朗
し居

事始

寒入

寒内

寒月

多代女
晩翠
祝鶴
凡斉
寸長
里暁
荷竹
高嶺
梅室
凡齊
悠々
鶯居

寒雨　文遷

寒念佛　鳥山　文里

寒垢離　三恵女

凡斉

鶏周

嶺斉

凡斉

凡斉

雄嶺

鳥山

洛叟

寒聲　遊流

寒椿　鷺秋

冬椿　凡齊

室梅　鳳

冬樣　文代女

竜昇

縁雨

旬光

文中

凡齊

洛叟

匠斧　露丸　民賀　露岳　碓嶺　駅童　嶺蔡　玄梁　幸女　爪齋　空外　嶺斉

寒梅

寒竹

柊咲　衣配　古暦　煤拂

秀岱　し居　文里　三恵女　一具　亀山　多代女　碓嶺　由雪　鳥山　夏代女　心阿

追儺　波文
鬼外　李巣
福内　有節
　　川齋
　　谷椎
　　戯蝶
　　炎彦
　　岑谷
　　碓嶺
　　河梁
　　荻哉
　　風齋

節季候　由誓
　　一具
　　尊阿
　　史千
　　玄子
　　曽見
　　春琪
　　逸淵
　　千輪
歳市　梅室
　　天朗
　　由誓

年忘

年暮

荷少　一具
遲流　鳳朗
卓池　省吾
一具　禾木
鳳朗　卓池
省吾　史千
禾木　元人
卓池　一具
史千
元人
一具

厄拂

年内暮

餅搗

一具　青帰
茲兄　斗明
青帰　素行
斗明　古介
素行　梅室
古介　荷了
梅室
荷了
波同
田鳳
美山

餅搗　助宣
年木樵　一具
除夜　氷青
春近　梅凝
吟霞
一青
梅室
助宣
ちから
守中
梅室
紫金

行年　田風
年惜　護樂
年坂　童昇
河梁
有節
雄嶺
一具
乙居
卓池
思雄
圭丘
一朗

春待　荷竹
緣雨

春近　五美
文之

春隣　梅室
一朗

大晦日　凡齋
三恵女
文翼
風齋
雀史
多代女

大年　風齋
雉嶺
鴨居

年夜　黄山
凡齋
河梁

岡見　三恵女
五美
秀岱
掬月
由誓
梅室

除夜

[illegible]

一見　護水　御爪　風斎

最上川京中

[illegible]

長翠　碓嶺　翠嶺　翠

[illegible]

嶺　翠　嶺　翠　嶺　翠　嶺　翠　嶺　翠

[illegible]

今嶺
翠嶺
翠嶺
翠嶺
翠嶺
翠嶺
翠嶺
翠嶺

翠嶺
今
翠嶺
翠嶺
翠嶺
翠嶺
風濟
雄嶺
斉嶺

齊嶺

齊嶺

齊嶺

齊嶺

齊嶺

齊嶺

齊嶺

齊嶺

齊嶺

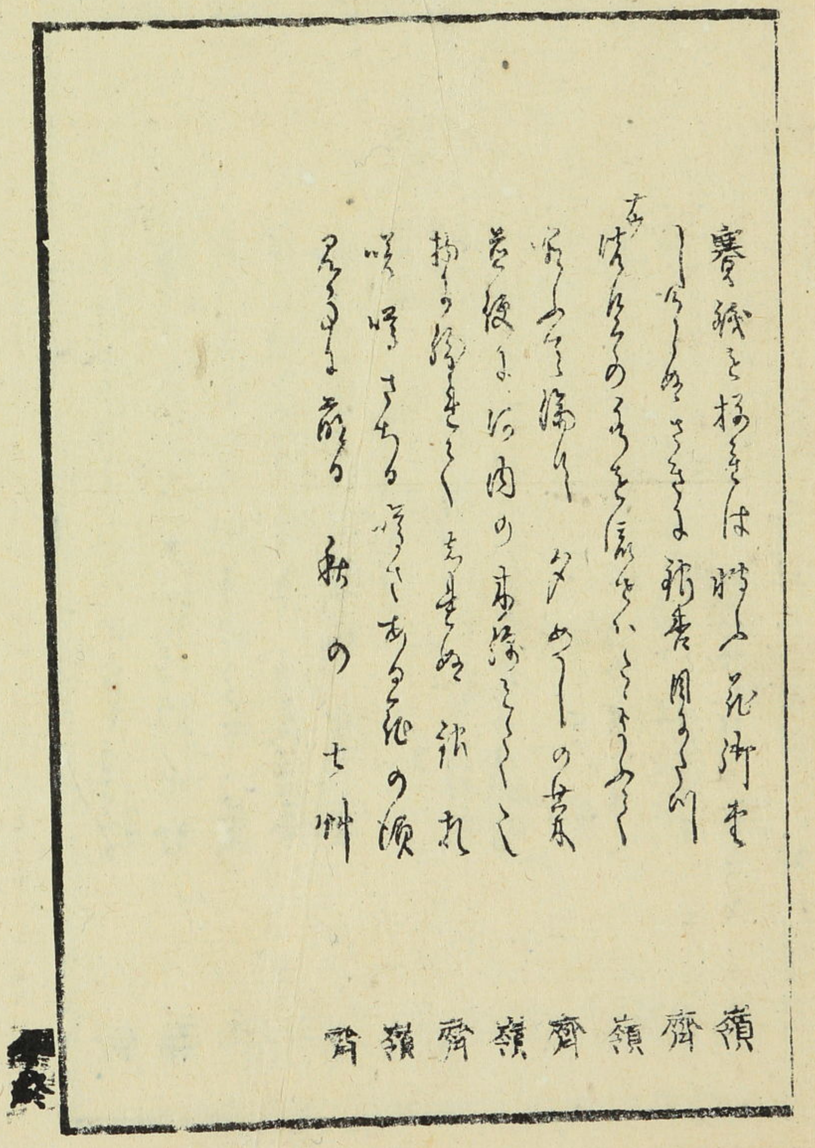
齊嶺

齊嶺

齊嶺

齊嶺

齊嶺



明治十三年三月十九日出版御届
明治十八年六月五日求版御届

故人
小菱菴雄嶺遺稿

井上勝五郎藏版
京橋區南紺屋町一番地

諸國書林

西澤喜太郎
三條屋七十郎
上田屋治八
樋口屋小左工門
島屋六平
中村作平
高橋小兵工
長島為一郎
村田孝太郎
正文堂利兵工

東京書林

須原屋茂兵工
山城屋佐兵工
小林新兵工
若林喜兵工
長野龜七
和泉屋市兵工
和泉屋孝之助
和泉屋北郎
和泉屋吉兵工
大倉孫兵工

須原屋伊八
島屋平七
擬屋喜兵工
高木和助
本城源三郎

須原屋龜次郎
藤岡屋慶次郎
小林喜右工門
出雲寺萬次郎
森屋治兵工
吉田屋文三郎